



# 月刊税理士事務所チャンネル CHANNEL

2018  
**3**  
No.439

シリーズ企画

## 「遺言執行者」の実務と留意点 ..... 6

事務所訪問

松丸会計事務所 ..... 2

エヌエヌ生命の新品を活用した  
顧問先のリスクマネジメント強化 ..... 5

東京会企画①

東京近郊の都市農業の実態 ..... 10

東京会企画②

MJSシステム徹底活用事例 ..... 12

会計事務所・顧問先向け

MJSソリューションの紹介 ..... 13

ミロク会計人会からのお知らせ  
& MJSからのお知らせ ..... 14

ミロクシステムQ&A

『所得税確定申告書』 ..... 15


リレーエッセイ

東京ミロク会計人会 川原 敏 ..... 19

今月の表紙: 梅の花咲く湯島天満宮

場所: 東京都文京区

日本の未来—  
企業を支える

 ミロク会計人会



## 事務所 訪問

# 簿記学校や他士業をはじめとする 広範なネットワークで顧問先を支援

学生時代より大原簿記学校の講師を務め、日本有数の大手会計事務所での勤務を経て20代後半で独立を果たした松丸 隆一先生。以後、約30年にわたって広範なネットワークを駆使して、顧問先企業からの税務・会計・財務面にとどまらない「よろず相談」に対応してきました。早速、これまでの歩みや展望を松丸先生に伺いました。

### 簿記学校講師と大手会計事務所勤務を経て独立

——今年で30周年を迎えられるとのこと、おめでとうございます。まずは事務所の開業に至るまでの経緯をお聞かせください。  
松丸 隆一 所長（以下、敬称略）

私は高校生の頃から税理士を目指していたので、大学に進学してからは法学部で学びつつ、東京・水道橋の大原簿記学校に通っていました。同校では、伝統的に受講生が講師に抜擢されるケースが多く、私にも大学4年生の夏、「講師をやってみないか」と声が掛かりました。これ

を受けて同校の講師になったことが、私の人生のターニングポイントになりました。当時はまだ21歳、税理士試験に2科目合格した段階でしたので、大学への通学と自身の受験勉強、大原簿記学校での講師と、三足のわらじを履いて奮闘しました。受講生はほとんどの方が年上で大学生という身分を悟られないよう苦勞したものでした（笑）が、お陰様で翌年には税理士資格を取得することができ、以後、4年間にわたって教鞭を執りました。そして、その中で培った人脈を通じて辻会計事務所（現、辻・本郷税理士法人）に入所す

## MAC 松丸会計事務所

所在地 千葉県柏市南柏1-7-6 サポート南柏202  
TEL 04-7141-5039  
FAX 04-7141-5222  
設立 1988年  
職員数 10名  
URL <http://www.e-mac.co.jp>



千葉県柏市



広いスペースが確保され、ゆったりと働くことができるオフィス

ることができたのです。

——辻・本郷税理士法人といえ  
ば、国内最大の規模・総合力を  
誇る税理士法人ですね。

**松丸** 当時の勢いもすごかった  
です。日本中がバブル景気に沸  
く中、資産税関係などの複雑な  
案件を次々と任せていただき、  
非常に勉強になりました。また、  
全国各地を飛び回って講演をし  
ていた辻<sup>つじ</sup>敢先生にかばん持ちと  
してついていき、大原簿記学校  
での講師経験を生かして私自身  
が壇上で話すこともしばしばあ  
りました。こうした経験を3年  
間ほど積んだ後、28歳で独立し

たのです。

——かなり若いうちに独立され  
たのですね。

**松丸** 辻先生には「もう少しう  
ちで勉強してからにしてはどう  
か」と引き止められたのですが、  
若く血気盛んだった私は初志を  
貫いて自分の事務所を開設しま  
した。ちょうど昭和63年の秋、  
消費税の導入と同時期で、税理  
士業界は「消費税セミナーブー  
ム」に沸いていました。辻会計  
事務所にいた頃に千葉県や東京  
都内の銀行の支店を担当し、バ  
ブル全盛期の税務相談を数多く  
受けていたので、当時のコネク  
ションを通じて私のところにも  
さまざまな業種・業界からセミ  
ナー講師の引き合いがどっと押  
し寄せました。その波に乗って  
顧問先も当初から順調に増え、  
景気が良い時期には毎月のように  
新規案件が加わりました。こ  
のように事務所開設当初から税  
理士として忙しい日々を送るこ  
とができたのは、日本有数の会  
計事務所での勤務経験や大原簿  
記学校の元講師といった経歴が  
プラスに働いたおかげだと思っ  
ています。

### 幅広いネットワークを生かし 「よろず相談」に対応

——顧問先支援に関しては、ど  
のような目標やモットーを掲げ  
たのでしょうか。

**松丸** これまで一貫して「お客  
様から信頼されるよろず相談の  
窓口であること」を目指してき  
ました。現在では税務・会計・  
財務面はもちろんのこと、相続  
問題や遺産分割といった法律問  
題、後継者問題やM&A、不動  
産活用や経営に関する相談など、  
さまざまな相談を受けられるよ  
う心掛けています。  
こうした「よろず相談」に応  
える体制を支えているのが、異  
業種・業界への幅広いネットワ  
ークです。講師を務めた大原簿  
記学校をはじめとして、これま  
で青年会議所や商工会議所、ロ  
ータークラブ、弁護士、弁理  
士、証券会社、不動産会社、銀  
行など多業種にネットワークを  
広げてきました。

自身が顧問先と一緒に先方まで  
寄り添い、直接両者を引き合わ  
せるということですが、顧問先の  
不安や葛藤などを少しでも和ら  
げるのが、私たちの役割だから  
です。こうした姿勢は、確実に  
顧問先の信頼感の醸成につな  
がっており、おかげさまで「困っ  
たときに頼りになる、面倒見の  
いい事務所」と好評であると思  
います。

——ネットワーク作りの一環と  
して、異業種交流のためのゴル  
フコンペも毎年開催していると  
伺いました。

**松丸** 異業種交流会MAC<sup>※</sup>コ  
ンペは、事務所設立3年目の記  
念事業として始めて以来、27回  
を重ねて現在に至っています。  
法人のクライアントと個人の確  
定申告依頼者などに声をかけ、  
当事務所スタッフとともに10月  
の事務所創立記念日に開催する  
もので、参加賞は農家のお客様  
から提供してもらった新米、そ  
の他すべての賞品についても顧  
問先から調達することが慣例で  
す。このゴルフコンペでの出会  
いを機に異業種のお客様同士で  
仕事が始まることもありますし、



異業種交流会MACコンペの様

当事務所スタッフを紹介する絶  
好の機会にもなっています。

——その他に顧問先支援におい  
て気を配っていること、松丸会  
計事務所ならではの特徴はあり  
ますか。

**松丸** 毎月の初めに全顧問先・  
個人客に「インフォメーション  
ペーパー」を送る取り組みをこ  
の約30年ずっと続けてきました。  
ワンシートで税務・会計に限ら  
ず、その時々旬な情報をお届け  
けるもので、スタッフが毎月  
交代で作成しています。ここ1  
年ほどを振り返ってみても税制  
改正、ふるさと納税、医療費控



「よろず相談の窓口であること」を目指し、事務所運営を続ける松丸 隆一先生

除の見直し、積立NISA、最低賃金改定、マイナポータルの運用開始、IT導入補助金、中小企業の設備投資促進税制と、テーマはさまざまです。じっくり読み込んでもらうというよりは、お客様とのコミュニケーションツールとして活用しています。

**働き方改革を目指して業務環境改善や効率化を推進**

—— 職員の定着率が高く、勤続年数の長い方が多いそうですね。

松丸 幸い熱意ある優秀なスタッフが多く、私を含めて登録税

理士が3名、科目合格者も数名おり、その他パートでも税理士試験合格者の女性が1名、職員が長く働いてくれていることは大変に助かっております。勤続表彰制度を設けていることや、スタッフとの食事を開いたり、11月にはスタッフ全員にシクラメンの鉢をプレゼントするといった気配りをしています。ちなみにシクラメンの花はちょうど翌年3月頃、確定申告による繁忙期頃までは開花し続けており、忙しく疲れたスタッフの心を癒してくれていると思います(笑)。こうした取り組みのおかげか、

事務所開設から現在までで正社員の離職者はわずか数名と、ほとんどのスタッフが長く勤めてくれています。ただ、勤続年数が長いと役割分担や業務領域が各自しつかり定着する分、一人でも辞める人が出ると仕事に大きな穴が開きやすいというデメリットもあります。事実、約10年前、独立して辞めた職員がいた上、ケガが原因で長期間仕事を休まねばならない職員が出たことがあり、その後、数年間は非常に厳しい業務環境をスタッフたちに強いてしまいました。4、5年前に新たに人員を増加することができたので、それ以降は当時の反省からなるべく多くの人員でゆったりと仕事ができるようにしています。

——最後に事務所の今後の展望をお聞かせください。

松丸 まだまだ業務環境改善や効率化の余地はありますし、お客様とのやりとりの形も、これからの時代はITの活用でどんどん変わっていきます。そこで今後は新たなシステム導入なども積極的に検討しながら、スタッフ全員がより良い働き方をし

ていけるよう改革に努めたいと思います。

また、嬉しいニュースとしては昨年11月に息子が公認会計士試験に合格し、この2月から監査法人で働いています。といっても、現時点で「いつか当事務所の後継者に」とレールを敷くようなことはしていません。私自身が身一つで事務所を開いた経験があるからか、「好きなよう

に自分で世界を切り開いてほしい」という思いで見守っています。むしろ息子には、監査法人で自由にどんどん人脈を広げてもらい、いつか独立して当事務所と仕事上で連携できるような存在になってほしいと考えています。

——本日はありがとうございました。ますますの発展をお祈りいたします。

History & Story

税理士までの歩み

松丸先生のご実家は、地元・柏市で創業60年以上の洋品店を営んでいます。先生が子どもの頃、客商売をしている父上から「税金は大事だ」と聞かされたことが、漠然とながら税理士を目指すきっかけとなり、高校生の時には大学での勉学と並行して簿記学校に通うことを決意していたそうです。その後、大学4年生から4年間にわたり大原簿記学校で講師を務め、その間に税理士免許を取得、社会計事務所勤務を経て、弱冠28歳で独立開業を果たしました。新松戸に自宅として借りたマンションの一室の6畳一間が最初の事務所でしたが、何度か事務所を移って徐々に規模を拡大、今年で開業30年を迎えます。